

- 地主や地域住民と良好な関係を築きながら、絶景空き地を用いたキャンピングオフィス^(※)を実施
- 都市部テレワーカーによるキャンピングオフィスの利用や、将来的な空き地の取得・賃貸を促進するため、空き地の活用イメージを掲載した冊子を作成

(※)キャンピングオフィスとは、自然が感じられる環境にテントを張り、都市部の会議室にない非日常の中で経営合宿や企画会議、社員研修等を行うスペースである。環境を変えることによって、発見されるメンバーの新たな一面や価値観を共有することで、チームビルディングにも活用できる。

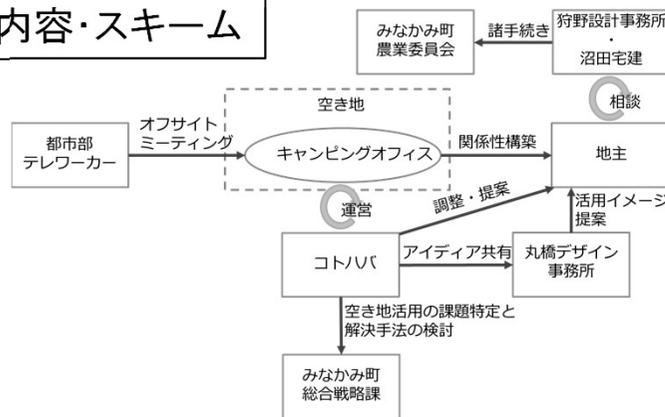
背景・課題

みなかみ町では、高齢化の進行等により、空き家・空き地の権利分散が進み、第三者が新たに空き家・空き地を取得することが難しくなっている。空き地については、利活用イメージが見出せない、農地転用や土地の売買などに関わる専門領域を相談できない等の問題により、放置されている現状にある。

調査目的

みなかみ町の象徴の一つである谷川岳を眺望できる絶景空き地を活用してキャンピングオフィスを設営する。都市部テレワーカーと地域関係構築のきっかけを醸成することで都市部テレワーカーによる町内の空き地取得・賃貸の促進に資することを目的とする。

事業内容・スキーム



モデル調査の成果

- ・キャンピングオフィスの試験的な実施を通じて、地域住民や地主との信頼関係が構築され、地域住民や地主の協力の下、キャンピングオフィスの実施が実現した。
- ・候補地選定の過程において、活用されていない農地を検討したことで農業委員会との協議等の手続きに関する知見を得た。また、隣地取得の方法等、不動産取引に関する知識や経験を習得することができた。
- ・キャンピングオフィスの実施を通じて、設置運営に必要な設備、備品、留意事項等のノウハウを習得するとともに、空き地の活用イメージを明確にすることができた。
- ・キャンピングオフィスによる空き地の活用イメージは、都市部テレワーカーへの情報発信を行う冊子としてとりまとめた。



キャンピングオフィスでのテント全景



キャンピングオフィス利用の様子

《空き地を活用したキャンピングオフィス実施時の留意事項》

- ▶食事を提供する際の作業時間の見積もり、作業スペースの確保
- ▶パソコン等の機器に対する砂ぼこり対策
- ▶テント内への防風対策
- ▶雨天時の対策(当該地では、地主の別荘を使用することで解消へ)
- ▶椅子、テーブル、黒板等の作業環境の充実
- ▶トイレの確保(本調査では、トイレカーを活用した)



レンタルして設置したトイレカー

①空き地活用に向けた地主と調整、諸問題の解決

空き地活用に向けて、現地視察や打ち合わせを行い、地主との情報共有並びに調整を図った。また、空き地活用を進める中で生じた農地転用等に関する調整対応を検討した。

②キャンピングオフィスの実施

空き地の活用方策として、キャンピングオフィスのトライアルを実施した。トライアルで得た知見を活かし、実際に空き地を活用したキャンピングオフィスを実施した。

③空き地活用イメージの発信及び周知の取組

キャンピングオフィスの実施を通して得た、空き地活用イメージ等を都市部テレワーカー等に発信し、周知を図るため、キャンピングオフィスの取組に関する冊子を作成した。